



2021年3月期(第2四半期)
決算説明資料

証券コード:5217



テイクオーイル株式会社

目次

1. 2021年3月期中間決算
2. 2021年3月期業績予想
3. 半導体市場予測
4. トピックス
5. 新型コロナウイルス感染症対策

1. 2021年3月期中間決算

1. 2021年3月期中間決算

(1) 経営成績(連結)

(単位:百万円)

	2020年3月期中間 (第44期)		2021年3月期中間 (第45期)		2020年3月期 (第44期)	
売上高	4,480	△0.9%	6,195	38.3%	9,082	△0.4%
営業利益	734	△5.9%	1,275	73.5%	1,419	△13.9%
経常利益	774	△5.8%	1,277	65.0%	1,480	△13.1%
純利益	553	△1.7%	877	58.4%	992	△14.5%

注) %表示は対前年同期比増減率

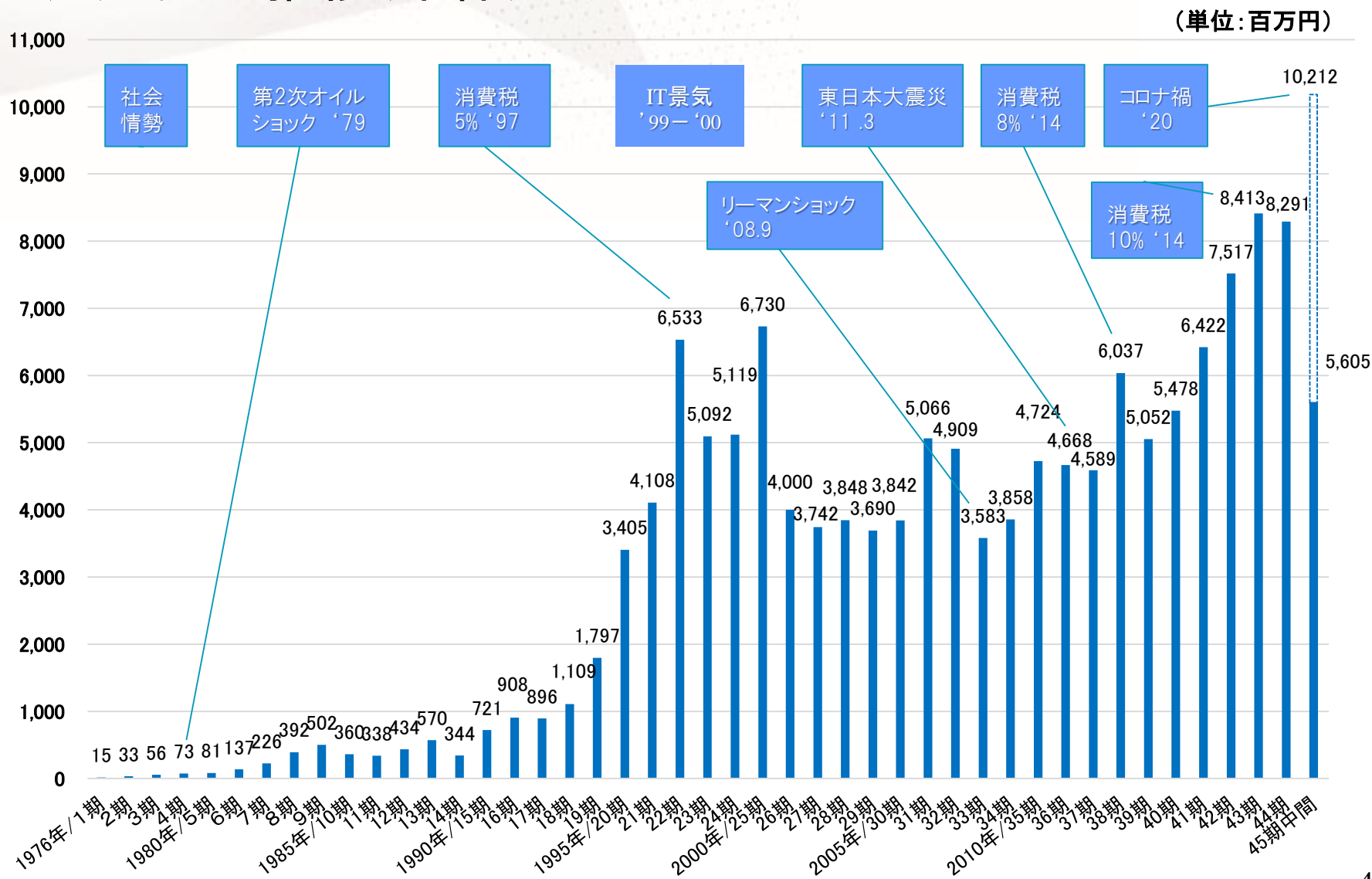
(2) 経営成績(単体)

(単位:百万円)

	2020年3月期中間 (第44期)		2021年3月期中間 (第45期)		2020年3月期 (第44期)	
売上高	3,974	△6.4%	5,605	41.0%	8,291	△1.5%
営業利益	511	△21.6%	881	72.2%	1,039	△12.9%
経常利益	628	△10.1%	901	43.5%	1,568	26.0%
純利益	470	△2.8%	620	31.8%	1,196	40.6%

注) %表示は対前年同期比増減率

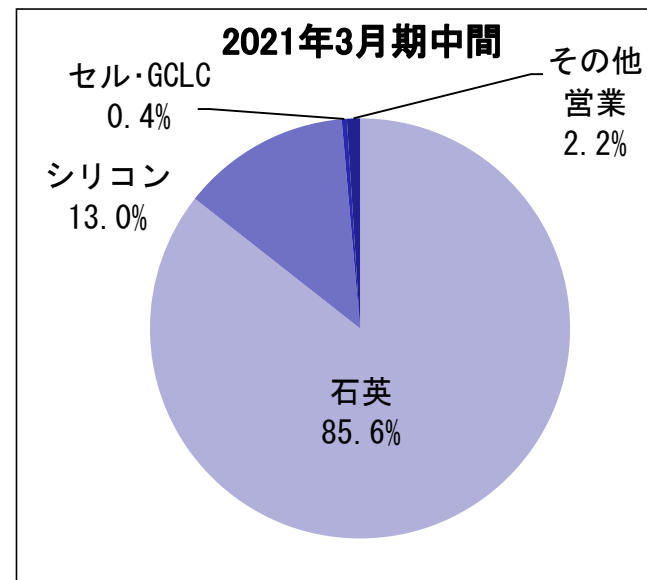
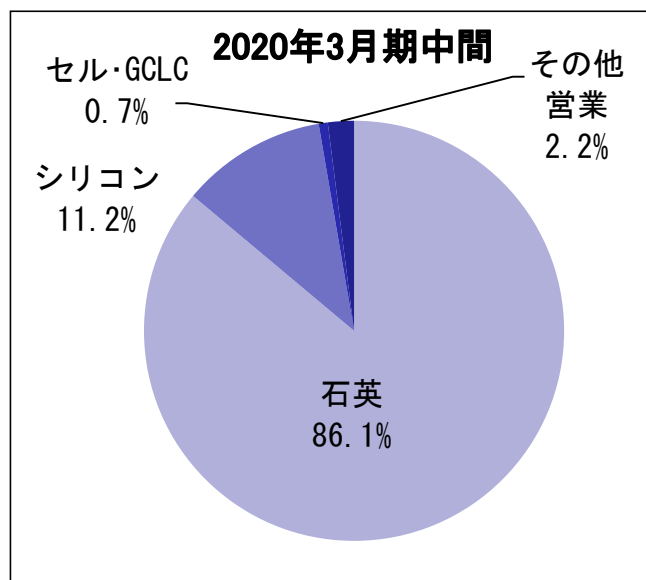
(3) 売上推移(単体)



(4) 製品別売上高

(単位:千円)

主要製品	2020年3月期中間			2021年3月期中間		
	売上高	構成比	前年比	売上高	構成比	前年比
石英	3,859,084	86.1%	△0.0%	5,305,439	85.6%	+37.5%
シリコン	500,991	11.2%	△10.7%	805,783	13.0%	+60.8%
理化学機器 セル、GCLC	30,408	0.7%	+11.3%	21,695	0.4%	△28.7%
その他営業	90,021	2.0%	+22.6%	62,714	1.0%	△30.3%
総計	4,480,506	100.0%	△0.9%	6,195,632	100.0%	+38.3%



2. 2021年3月期業績予想

(1) 2021年3月期(第45期)業績予想

(単位:百万円)

	第2四半期		通期	
	金額	増減率	金額	増減率
売上高	6,195	38.3%	11,300	24.4%
営業利益	1,275	73.5%	2,174	53.3%
経常利益	1,277	65.0%	2,081	40.6%
純利益	877	58.4%	1,516	52.7%

※2020年9月期決算短信の公表値

注)%表示は対前年同期比増減率

3. 半導体市場予測

(1) 売上ランキング

2019年半導体メーカー売上ランキング

2019	2018	企業名	国名	売上高 (百万ドル)
1	2	インテル		65,793
2	1	サムスン エレクトロニクス		52,214
3	3	SK Hynix		22,478
4	4	マイクロンテクノロジー		20,056
5	5	ブロードコム		15,293
6	6	クアルコム		13,537
7	7	TI		13,230
8	8	STM		9,017
9	12	キオクシア		8,797
10	10	NXP		8,745

資料:IC Insights

2019年半導体装置メーカー売上ランキング

2019	2018	企業名	国名	売上高 (百万ドル)
1	1	アプライド マテリアルズ		13,468
2	2	ASML		12,770
3	3	東京エレクトロン		9,552
4	4	ラムリサーチ		9,549
5	5	KLAテンコール		4,665
6	6	アドバンテスト		2,470
7	7	スクリーン		2,200
8	8	Teradyne		1,553
9	10	日立ハイテクノロジーズ		1,533
10	13	ASMI		1,261

資料:VLSI Research

(2) 世界の地域別半導体市場規模

(単位:億米ドル)

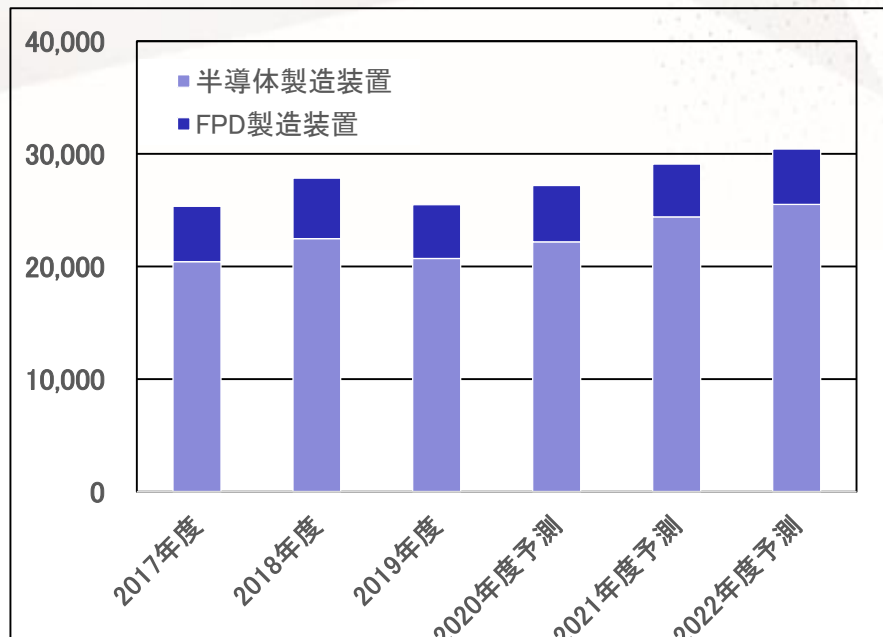
	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
米州	614	693	687	655	884	1,029	786	886	945
欧州	348	374	342	327	383	429	398	381	403
A/P	1,744	1,942	2,010	2,083	2,488	2,828	2,578	2,646	2,817
日本	347	348	311	322	365	399	359	344	355
合計	3,055	3,358	3,351	3,389	4,122	4,687	4,123	4,259	4,522
前年比	104.8%	109.9%	99.8%	101.1%	121.6%	113.7%	88.0%	103.3%	106.2%

資料:WSTS 2020年春季半導体市場予測

※上記WSTS予測は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮していないため、今後の予測値は変動する可能性があります。

(3) 市場環境

日本製装置販売高予測 (単位:億円)



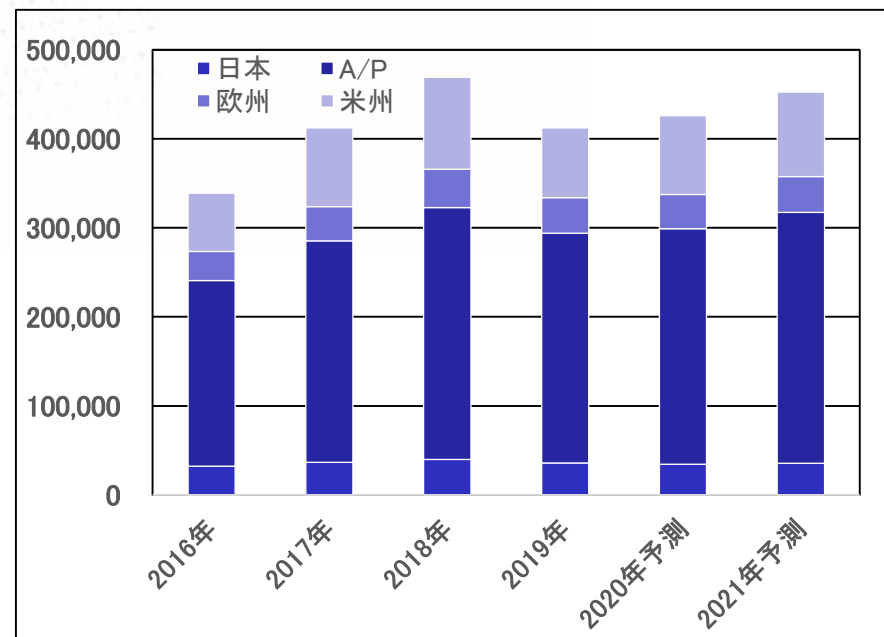
資料:SEAJ

■日本製装置販売高について、2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で世界経済の大幅な縮小が予想される中、力強いデータセンター需要を背景に半導体市場は堅調な成長が予測されており、年後半からのメモリー投資の復活を見込んで、半導体製造装置が前年度比7.0%増、FPD製造装置が同5.5%増、全体で6.7%増の2兆7,201億円となる見通しです。

■2021年度は、FPDが若干減るものの、半導体は10%増と成長を加速するため、全体で7.0%増の2兆9,100億円と予測しています。

■2022年度は、半導体が4.6%増、FPDが4.3%増、全体で4.5%増の3兆422億円と予測しており、3兆円の大台に乗るのは、SEAJが統計を開始して以来初めてとなります。

世界地域別半導体市場予測 (単位:億米ドル)



資料:WSTS

■世界半導体市場について、2019年は、米中貿易摩擦などの地政学的リスクが世界経済成長の失速を招き、半導体市場も前年比12.0%減と大きな影響を受えました。

■2020年は、前年の低迷からの反発で年初から回復基調にありましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、グローバルな経済活動は急激に落ち込みました。一方、半導体市場では、在宅勤務や巣籠り需要の増加等、ライフスタイルの変化による恩恵を受ける分野が多いことから、前年比3.3%増とプラス成長を予測しています。

■2021年は、新型コロナウイルスの状況は引き続き不透明ですが、一定程度状況が改善すると的前提の下、世界経済も回復に転じると見て、前年比6.2%増と予測しています。

4. トピックス

(1) 蔵王工場 新倉庫棟(2020年7月末完成)



生産体制強化のための
拡張スペースを確保



(2) 中国浙江省杭州市 TQC第3工場 (2021年6月末完成予定)



生産能力の拡大



5. 新型コロナウイルス感染症対策

(1) 弊社の対応

日々変化する状況に応じて、お客様、従業員およびその家族の安全確保・感染予防、感染拡大防止を最優先とする方針のもと、事業継続に向けた対応を随時実施しております。

現在、お客様に対しましては、各種オンラインシステムを活用した商談や営業活動を行っております。新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めつつ、お客様からのご注文への対応、商品出荷対応等は、通常通り実施しております。

また、社内におきましては、従業員に対し、在宅勤務および時差出勤の導入、出張の制限等を行っているほか、事業部門ごとに事業の継続に向けたコンティンジェンシープランを策定しております。

(2) 事業面の影響

半導体業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、スマートフォンに代表されるコンシューマ製品や車載、産業機器等、半導体需要の一角を担う多くの製品で消費減少が見込まれています。

しかしながら、一方で、テレワークや巣ごもり需要の増大でデータ量が増加し、半導体を大量に費消するデータセンター等のインフラ需要が急激に拡大しています。

今回のコロナショックを契機に、世界中の人々の行動様式は変化を迫られ、働き方、購買行動、教育・医療等には大きな変革が求められています。このような新しい行動様式の下では、5GやAI、IoT、自動運転等の需要がますます高まると見込まれ、中長期的には半導体需要は確実に拡大していくと思われれます。

【免責事項】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があることをご了承ください。



〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2

ハーモニータワー

TEL: 03-5354-8171

FAX: 03-5354-8191

<http://www.techno-q.com/>